



大勢のサポーターの前で演奏する大和中学校吹奏楽部

西から東から ボイス



VOICE FROM THE EAST
FROM THE WEST

問 総務まちづくり課広報班
電話 345-1112
ファクス 345-4852

皆さんからの
フレッシュな
情報をお待ち
しています

1

1 ベガルタ仙台本拠地戦で 大和中学校吹奏楽部が演奏

7月2日(土)ユアテックスタジアム仙台で行われた「ベガルタ仙台対名古屋グランパス」の試合開始前に、大和中学校吹奏楽部(部員42名)が演奏を披露しました。

この日の試合は震災のため延期されたベガルタ仙台本拠地開幕戦(3月12日)の振替戦で、大勢のサポーターが見つめる中、『栄光の架橋』(ゆず)と『負けないで』(ZARD)の2曲を力強く演奏しました。試合結果は1対1の引き分けとなり、ベガルタ仙台の勝ち点をサポートしました。吹奏楽部部長の吉田舞さんは「部員みんなで盛り上げようと頑張った。大勢のお客さんがいて緊張したけど、手拍子などもあり上手く演奏できたと思う。達成感でいっぱいです」と話していました。

2 短冊に願いを込めて 七夕飾りを作ろう

7月8日(金)もみじヶ丘児童館で、めんこいクラブ(2歳児)による「七夕飾り作ろう」が行われ、親子8組が参加しました。

折り紙で作った星型の飾りや、ひこ星・織り姫の飾りを笹に取り付け、最後に願いごとを書き込んだ短冊をつり下げました。反田尚寿くんは「楽しかった。『アンパンに会えましょつ』と願いごとをした」と話していました。庄子優梨愛ちゃんは「アンパンマンの飾りを作るのが楽しかった。大きくなったらせんせいになりたい」と話していました。

3 次世代コミュニケーション KEEPON(キーボン)

7月8日(金)から10日(日)にかけて「キーボン」がまほろばホールに遊びにきました。

宮城大学事業構想学部・小嶋秀樹教授が開発した「コミュニケーションロボット「キーボン」は、対象に対して顔を向けたり、動きや音楽に合わせて体を動かすことで、子どもの「コミュニケーション」を観察することを目的としたロボットです。呼び掛けにうなずいたり、リクエフトにこたえて踊ったりする愛らしい姿に、子どもたちは目を輝かせて遊んでいました。



キーボンと遊ぶ子どもたち



願いごと叶うといいな♪